

5、法則3：ほんとうにクライマックスなクライマックス！

サッカーのPK戦。

これを決めれば勝ちという最後のキッカー太郎君

クライマックスはどこか？

a、太郎君が、蹴る前

b、太郎君が、蹴る瞬間

c、太郎君が、蹴り終わったあと

ほんとうのクライマックスとは、主人公の気持ちがいちばん

揺れ動き、ドキドキし、ハラハラする場面

蹴ったボールがネットを揺らすのは、クライマックスではない。

正解は、aとbの間。

富士山に登ると、山頂までの残り100メートルの傾斜が

いちばんキツイ。

これがクライマックス。

物語のクライマックスを間違えてしまうケース・・・

ボールを蹴る前、山頂に着く前を、あっさり描いてしまい、

蹴ったあと、山頂に登ったあとを厚く書いてしまう・・・。

読者、視聴者、リスナーを巻き込むクライマックスを

創るには、主人公の葛藤を利用する

伏線を張っておき、うまくドラマが流れていかない枷を

大切にする